



CRファクトリー
Community & Relationship

【住所】〒105-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル4階
【Web】<http://crafactory.com/>
【Email】info@crafactory.com
【Facebook】<https://www.facebook.com/npo.crafactory/>



CR FACTORY ANNUAL REPORT 2017

年次報告書

NPO法人CRファクトリー

すべてのコミュニティに あつぱれ!



MESSAGE 代表挨拶

CRファクトリー設立から10年以上が経過をしました。こういう機会に改めて「活動を始めた&続けている源となる自分の中の原的な想い」について考えてみると…それは、「争い・対立」とか、「孤立」とか、「息苦しさ」とか、を減らしたいという素朴な想いです。大きくは世界や国家や宗教で。小さくは学校のクラスの中で、地域の中で、いろいろなグループ・集団の中で、家庭の中で。多様でありながらも一緒に居て、一緒に居るんだけど自由で居心地・生き心地が良い。そんなコミュニティとつながりのあり方や、それを成立(両立)させるマネジメント法はきっと存在するし、きっと人を幸せにする。それを実現する「コミュニティマネジメント」への可能性と期待と魅力に引き寄せられています。ぬくもりがあって効果的なマネジメント法を開発・提供したい。今年も「コミュニティマネジメント」の追求、「コミュニティマネジメント」の普及、「コミュニティマネジメント」の導入・実践による価値・変化創出に、これでもかというほど邁進していきたいと思います。

VISION ビジョン

すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会の実現

自分のことを認めてくれたり、大切にしてくれる場所や仲間が存在することは、人を勇気づけ、生きる上での支えになります。そんな居場所と仲間が自分の中に存在したとき、「自己肯定感」や「存在意義実感」(「自分には生きる価値がある・誰かに必要とされている」と自らの価値や存在意義を肯定できる感覚)が高まり、力強

代表理事 吳 哲煥

人は息苦しくなってしまう。そのどちらでもないこと。多様でありながらも一緒に居て、一緒に居るんだけど自由で居心地・生き心地が良い。そんなコミュニティとつながりのあり方や、それを成立(両立)させるマネジメント法はきっと存在するし、きっと人を幸せにする。それを実現する「コミュニティマネジメント」への可能性と期待と魅力に引き寄せられています。ぬくもりがあって効果的なマネジメント法を開発・提供したい。今年も「コミュニティマネジメント」の追求、「コミュニティマネジメント」の普及、「コミュニティマネジメント」の導入・実践による価値・変化創出に、これでもかというほど邁進していきたいと思います。

コミュニティキャピタル診断

2013年に上智大学との共同研究によって開発がスタートした「コミュニティキャピタル診断」は、2016年からNPO団体向けの本格的なサービスとして正式にリリースし、現在150団体3500名が受診している組織・コミュニティ診断サービスとなっています。

コミュニティキャピタル診断とは、一言で言うと「NPO団体の組織・コミュニティの状態を測定するツール」です。20個の質問により構成され、「組織・コミュニティの状態」を3つの観点(=3つの因子)から診断することができます。

第1の因子は「理念共感と貢献意欲」=「この団体の理念に共感している」「この団体を自分も一緒に担っていきたい」と思える感覚です。第2の因子は「自己有用感」=活動・関わりを通して「自分は役に立っている」「必要とされている」と感じられる感覚です。第3の因子は「居心地の良さ」=「メンバーと一緒に活動することが楽しい」「仲間といふと落ち着く」と感じられる感覚です。これら3つの因子は長年に渡って組織マネジメント・コミュニティマネジメントに関わってきた実務者としても非常に納得感のある観点であり、コミュニティキャピタルは、これら3つの因子を「組織・コミュニティづくりのための指標」として提唱しています。

コミュニティキャピタル診断 結果分析ワークシート			
因子得点の考察		サンプル全体との差	
因子	得点	サンプル全体との差	思い当たるところ(そうなっているところ)
【第1因子】理念共感と貢献意欲			
【第2因子】自己有用感			
【第3因子】居心地の良さ			



診断によって測定できる 3つの因子

150団体・3500人のデータによって実証された確かな尺度!

ここ最近は、コミュニティキャピタル診断を活用した「組織開発」や「組織支援」への取り組みも進んで来ています。診断結果レポートを組織内で読み解き分析するための「ワークシート」や、各因子を向上させるためのノウハウを提供する「セミナー・講座」、そして団体にファシリテーターが訪問してメンバー・スタッフと一緒に組織分析・施策立案をする「出張ワークショップ」の提供など、診断を活用した組織マネジメント支援のメニューも充実しています。

さらには、各地の自治体や中間支援組織と連携して、その地域の登録団体の組織・コミュニティの状態測定と、その診断結果を活用した組織支援の取り組みも生まれ始めていて、コミュニティキャピタル診断を活用した組織支援がスケールアウトし始めています。

日本各地のNPO・市民活動・サークルなどの組織・コミュニティが、活力と推進力が高いことに加えて、活動するメンバーが楽しく、居心地良く、充実感を感じられるような「強くあたたかい組織・コミュニティ」になっていくことが私たちの最上位の目的です。それが今の社会を良くしていく有効なアプローチだと考えているからです。それを創り上げるための参考指標・準拠指標として、これからもコミュニティキャピタルの概念を普及していくことに力を注いでいきたいと思います。

ピックアップ事業事例

事例
1

こまちぶらす



神奈川県横浜市において、NPO法人こまちぶらすと協働で、「地域の居場所づくりと市民参画のデザイン～「子育て」「障がい」「介護」等の地域課題の担い手を育成するカフェモデルの確立と横展開～」事業を実施しています。

「ふらっと」来れるカフェという場所を起点に、「心地良く居られるつながる」雰囲気と愛着をつくり出し、そこから一人ひとりの「やりたい」を引き出して活躍の場をつくっていくことで、「いつの間にか“まちの担い手”になっていた」という市民が生まれています。

この事業には、CRファクトリーのコミュニティづくりのメソッドがふんだんに活用されていて、「地域」「場所」というハードと、「ノウハウ」というソフトとの組み合わせの効果の高さを実感しています。

これからもさまざまな地域や場所に「居場所づくり」「担い手づくり」のメソッド(=コミュニティマネジメントノウハウ)を導入・活用していくべきだと思います。

事例
2

魚沼市



新潟県魚沼市において、「うおぬまコミュニティマネジメント塾」と「うおぬまコミュニティマネジメントラボ」という2つのプログラムを実施しています。地域で活動している市民・運営者たちが、CRファクトリーのコミュニティマネジメントのノウハウを学びながら、地域の人々を巻き込みイキイキと活動を推進する団体になることが目的です。

内容としては、「仲間の巻き込み方」「効果的な会議のやり方」「年間計画の立て方」など、組織運営の足腰が鍛えられるようかなり実践的な内容になっています。

プログラムへの参加団体は、コミュニティ協議会、まちづくり委員会、集落支援員などの地域組織から、絵本の読み聞かせの会、歴史民俗の会などの市民活動団体まで幅広く参加しています。その地域の担い手たちが、プログラムを通して横の交流・つながりをつくりながら、魚沼市を良いまちにしていく志す「運営者コミュニティ・ネットワーク」になっているところにも大きな価値が生まれています。

事例
3

オンラインコミュニティ塾



ITテクノロジーの進化により、教育や学習の領域においても、E-learningやEdtechなどの導入が進んできています。日本全国にコミュニティマネジメントのノウハウを届けるために、CRファクトリーでは通常のリアルセミナーに加えて、E-learningで学べるプログラム「オンラインコミュニティ塾」を開発しました。

コミュニティマネジメントのノウハウを「動画」と「オンラインテキスト」にまとめ上げているため、自宅やカフェや通勤・通学中など、好きな場所で好きな時に学ぶことができるのが最大の利点です。加えて、ただ単に知識を身につけるだけにならないように「スクーリング(集合授業)」を用意して、同じ動画学習をしている仲間同士のディスカッションすることで学びを深めると共に、学習のモチベーションを上げることも狙っています。

今後はこのプログラムを全国に展開していく予定です。みなさんの地域にお届けできるのを楽しみにしています。

事例
4

松戸プロジェクト



千葉県松戸市において、高齢者の居場所づくりや健康促進を目的としたサロン活動を行う「通いの場」の運営者のコミュニティマネジメントを支援する事業を行っています。NPO法人まつどNPO協議会とパートナーシップを組み、トヨタ財団からの助成を受けています。松戸市役所や千葉大学が主導するプロジェクトの一環として、コレクティブ・インパクトを指向して取り組んでいます。

いきいきと継続的に活動し、仲間と居場所をつくり、心身ともに健康な高齢者を社会に増やすための、厚生労働省の大きな戦略でもある「介護予防」を促進するプロジェクトです。

CRファクトリーにとっては、全国に届けられる通いの場マネジメントのノウハウを開発するとともに、「質の高いコミュニティ」が「質の高い介護予防」を生み出すという仮説を研究機関とともに証明する、実証研究へのチャレンジでもあります。

事業報告

1 人々が居心地良くイキイキと活動するための組織基盤づくりを支援する事業

NPOやコミュニティのマネジメントに関わる人を主な対象として、以下のような事業を実施しました。

PHASE1

コミュニティ・マネジメントとの出会い

セミナー・講座・勉強会

「コミュニティ・マネジメント基礎講座」や「強くあたたかい組織のつくり方」、NPOリーダーをゲストに招いての勉強会などを実施し、毎回コンスタントに多くの方にご参加いただき、団体としての発信力の向上を実感しています。

参加人数
232名
年間
18回
開催

PHASE2

コミュニティ・マネジメントに変化を生み出す

コミュニティ塾	オンライン コミュニティ塾	コミュニティ・ エンパワメントラボ	コミュニティ・ キャピタル診断	スタッフ研修・ コンサルティング
参加人数 11名 全10回	参加人数 8名	参加人数 7名	参加団体数 31 1,325名 団体	参加団体数 18団体

体系的な連続講座によるインプット、事前課題やプレゼンなど豊富なアウトプットと相互フィードバックを通して、コミュニティ・マネジメントを習得した修了生を輩出しました。非常に意欲の高い参加者に恵まれ、来期以降につながりそうです。

E-learningとスクーリングを組み合わせた反転学習のコンテンツとして、初めて本格的な事業化を行いました。今期から名称を変更し(マネジメント・ラボからエンパワメント・ラボへ)、より相互に仲間とともに磨き合うプログラムとして確立しました。

個別の団体の組織基盤強化を行うため、スタッフの相互理解強化、ビジョン策定、理事会改革などを支援しました。

PHASE3

強くあたたかい
コミュニティ
づくりを
志す人たちが集う

ビジョン・フォーラム	コミュニティ・フォーラム
参加人数 61名	参加人数 98名

今期から募集を開始した「応援会員」となってくださる方々をはじめ、CRファクトリーを取り巻く生態系の関係性・エンゲージメントを深める場として恒例行事化しています。

サブタイトルを「すべてのコミュニティにあっぱれ!」と題して、コミュニティ関わる人たちが集う「お祭り」として開催しました。過去最多のゲストに登壇いただき、演出効果を高めることで場の熱量が高まりました。

2 全国に「強くあたたかい組織」を溢れさせるための普及育成事業

各地の中間支援組織や自治体からの依頼を受けてセミナー・講座を実施し、様々なテーマで多くの方々にコミュニティ・マネジメントについての普及育成を行いました。

中間支援組織・自治体

新潟NPO協会、福島市市民活動サポートセンター、かわさき市民活動センター、幸区社協ボランティアセンター、武蔵野プレイス、世田谷文化生活情報センター、所沢市市民活動支援センター、北区NPO・ボランティアひらざ、千代田区ボランティアセンター、木更津市民活動支援センター、千葉市民活動支援センター、八幡浜元気プロジェクト、ソコカナ、いすみ区民活動支援センター、ファシリテーターフェローズ、集闘鷹申塚まちづくりを考える会、船橋市、中野区、荒川区、武蔵村山市、明治大学、関西大学、神田外語大学、日本財団CANPANプロジェクト、NPOサポートセンター、北海道で強くあたたかい組織を増やす実行委員会、ちとせタウンネット、八千代青年会議所

セミナー・講座のテーマ例

強くあたたかい組織をつくるコツ／新たな仲間の巻き込み方／やりがいと成果を生む組織コミュニケーション／コミュニティとつながりの重要性／メンバーを惹きつける方法を学ぶ／あたたかい団体・組織のつくり方／佐渡コミュニティマネジメント塾／大学公認サークル幹部員向け講習会／地域コーディネーター養成講座

参加人数
1277名

年間
53回
開催

セミナー・講座といった直接的な学びの場だけではなく、書籍・ツールを販売することによるノウハウの普及を行いました。

書籍
58冊
NPOの組織マネジメントノウハウ・コレクション

書籍
28冊
コミュニティ白書2016

コミュニティ運営支援ツール
24個
コミュ助

3 地域に元気な団体と個人を増やすために 自治体と連携して地域づくりを支援するアウトリーチ事業

コミュニティの活性化やコーディネート人材の輩出を目的として、連続講座や育成プログラムを実施しました。各自治体と良好な協働関係を築けており、いずれも継続的な取り組みになっています。

東京都中央区

地域コミュニティの担い手養成塾

述べ
参加人数
118名
全6回
開催

町会・自治会などの地域コミュニティの新たな担い手を育成し、主体的な活動を生み出すための学びの場として、全5回の連続講座として実施しました。すでに3年目となり、これまでの成果をまとめて発信するためのレポートを作成しました。

東京都武蔵野市

コミュニティ未来塾むさしの

述べ
参加人数
248名
全5回
2期

地域の市民活動をつなげるコーディネーター人材を育成するための養成講座として実施しました。2年目となります。2017年度は運営を市内の民間中間支援組織(鎌ヶ谷マネジメントラボ)と協力して行っています。

千葉県鎌ヶ谷市

かまがや地域づくり
コーディネーター養成講座

述べ
参加人数
229名
全10回
開催

地域の市民活動をつなげるコーディネーター人材を育成するための養成講座として実施しました。2年目となります。2017年度は運営を市内の民間中間支援組織(鎌ヶ谷マネジメントラボ)と協力して行っています。

新潟県魚沼市

うおぬまコミュニティ・マネジメント塾

述べ
参加人数
69名
全5回
マネジメント塾

述べ
参加人数
60名
全5回
マネジメントラボ

インプットを主体とした学びの場としての連続講座に加えて、「ラボ」形式の相互の学び合いの場を実施しました。コミュニティ運営者同士が支えあうプラットフォームが形成されつつあります。

4 中間支援組織等と共に組織基盤づくりを 支援するパートナーシップ事業

各地の中間支援組織などと共に、強くあたたかい組織やコミュニティを増やすための組織基盤づくりの支援を全国で行っています。地域のコミュニティの価値を高める協働事業の実施、CRファクトリーのコミュニティ・マネジメント支援施策の提供・導入、戦略策定の支援などを行っています。



5 「強くあたたかい組織」をつくるためのノウハウ研究・開発、 「つながりとコミュニティの重要性」についての研究・エビデンスづくりを行う調査・研究事業

松戸プロジェクト(千葉大学・上智大学との共同研究)

行政、大学、企業、NPO、地域コミュニティ、介護事業者、プロボノなど多様なステークホルダーと協働して推進してコレクティブ・インパクトの創出を目指しています。高齢者の「通いの場」における「コミュニティの質と介護予防の相関関係」の実証研究の取り組みです。

コミュニティ・キャピタル研究会(上智大学との共同研究)

NPO団体に向けた数多くのコミュニティキャピタル診断の実施によって大量のデータが蓄積され、それを基にコミュニティ心理学会や行動経済学会で論文を発表することができました。また、コミュニティキャピタル(コミュニティの状態)が「健康」や「幸福」などに対してどのような影響力・効果があるかについての研究に取り組みはじめました。

2018年度重点強化事業

「全国展開」に向けたスケールアウト戦略事業



この4つの事業を中心に、全国展開を本格的に志向しています。CRファクトリーそのものが各地を行脚するのではなく、各地の中間支援組織や共有ビジョンを描くNPOとの協働によって展開します。コンテンツ・パッケージを積極的に協働相手にお渡しし、その団体の手で地域に広げていただきたいと考えています。CRファクトリーが組織体として大きくなる「スケールアップ」ではなく、様々なパートナーと手を取り合う「スケールアウト」によって、広く「コミュニティ・マネジメント」を全国に普及させることを狙います。

「松戸プロジェクト」 2年目における成果創出



コミュニティによる介護予防を促進するためのコレクティブ・インパクト事業として、全国にモデル化される水準の成果を創出します。2年目は「通いの場」運営支援や「コミュニティの質と介護予防の相関関係」の実証研究が本格化するとともに、トヨタ財団からの助成金を受ける最後の期間ともなります。地域外からの介入者・専門家として着実に地域に成果と組織みを残し、さらに松戸市で成果をあげたメソッドが全国に波及されるモデル化を志向します。

「認定インストラクター」の育成



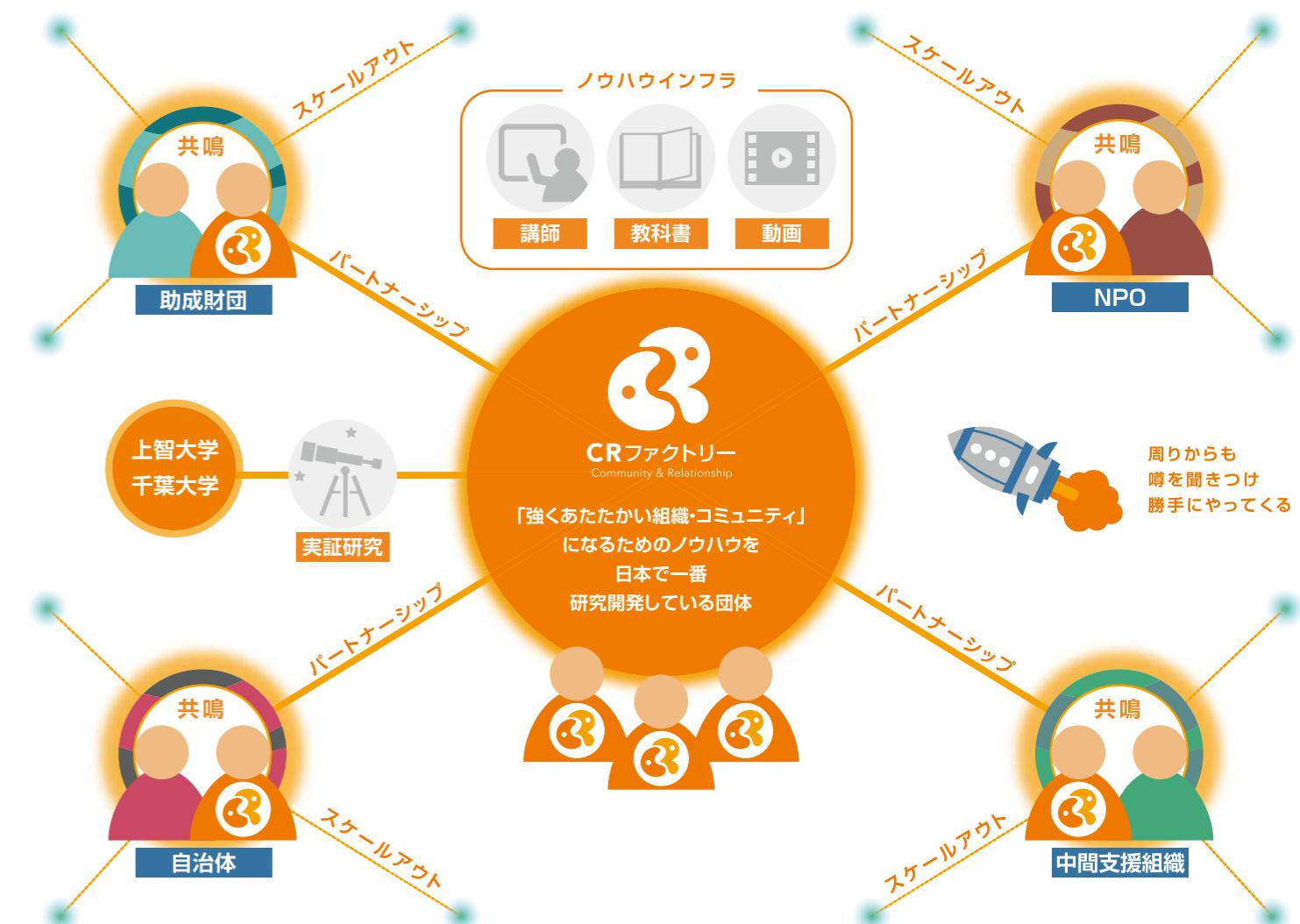
CRファクトリーのセミナーや研修を提供するできる人材の育成・機会の拡充を行います。スケールアウト戦略とも関係しますが、より広く普及させるために、その担い手の育成が不可欠となります。育成プログラムを開発し、「認定インストラクター」を世に輩出していきます。候補者となっているのは、各地で中間支援事業を行うコーディネーターや、元々は顧客でCRファクトリーのビジョンに共感してくださっているコミュニティリーダーの方々です。

「イシュー×コミュニティ事業」 の立ち上げ



NPO・コミュニティに対して広く組織基盤強化支援は継続しながら、「コミュニティによる価値創造を通した個別の社会課題の解決」という成果を志向する事業を立ち上げます。特に「孤立」「孤独」「無縁」を背景とした社会課題の解決に取り組むパートナーとともに、当事者やステークホルダーが相互に支えあうあたたかいコミュニティをつくることで、関わる人のwell-being(幸福感・生きることへの肯定感・心強さ)が高まることを目指します。

今後の戦略



Leverage1 コミュニティマネジメントノウハウの開発とインフラ化

NPO・市民活動・サークルなどの非営利組織を中心に、世の中の組織・コミュニティが「強くあたたかい組織・コミュニティ」になるためのノウハウを日本で一番研究開発している団体になります。より良い社会をつくるための事業推進力と、そこで活動するメンバー・スタッフのwell-beingの両方をかなえる「ぬくもりのあるマネジメント法」を開発し続け、それを全国どこでも活用できるようなノウハウインフラ・学習インフラ(=講師・教科書・動画など)として整えていきます。

Leverage2 パートナーシップとスケールアウト

これまで、多くのNPO・中間支援組織・自治体・助成財団などとの連携において活動を広げてきました。10年以上の経験から、CRファクトリーの成功パターンは、価値観の共鳴とそれによるパートナーシップであることが見えてきています。基幹となる考え方・価値観やノウハウ・モデルを開発・進化させ続けると共に、それを地域や現場で利用・活用してくれるパートナーや、一緒に事業として共創していくパートナーと組みながらスケールアウトしていくことが基本スタンスです。

Leverage3 研究によるエビデンスづくりと政策提言

現在、上智大学や千葉大学と共同で「つながりとコミュニティの価値・効果」についての実証研究を進めています。良質なコミュニティに関わることが、健康(認知症予防・介護予防・健康寿命増進)や幸福感にプラスの影響・効果があることが次々に実証されています。これらのエビデンス(科学的根拠)を積み重ねながら、コミュニティ活動や良質な組織・コミュニティの価値を可視化し、政策への実装につなげていきます。

会計報告

活動計算書

科目	金額 [税込]
受取会費	110,000
【経常収益】事業収益	16,232,162
その他収益 受取利息／雑収益	1,335
経常収益 計	16,343,497

2017年4月1日～2018年3月31日 (単位:円)

【経常費用】事業費	人件費	2,688,600
	法廷福利費	367,667
	売上原価	44,345
	外注費	501,376
	業務委託費	1,559,600
	謝金	245,000
	荷造運賃	19,765
	通信費	42,660
	旅費交通費	1,059,554
	運搬・車両関係費	700
	会議費	146,241
	消耗品費	55,237
	印刷費	220,606
	賃借料	177,960
	支払手数料	18,207
	施設使用料	232,715
	雑費	31,827
	事業費 計	7,412,060
	経常費用 計	15,525,132

【経常外収益】	過年度損益修正益	748,000
【経常外費用】	過年度損益修正損	1,068,411
	当期経常増減額	818,365
	税引前当期正味財産増減額	497,954
	法人税、住民税及び事業税	439,821
	当期正味財産増減額	58,133
	前期繰越正味財産額	3,176,180
	次期繰越正味財産額	3,234,313

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
流動資産 (現金・預金)		流動負債 未払金	164,411
現金	2,188	預り金	135,174
普通預金	4,277,917	仮受金	39,612
現金・預金 計	4,280,105	未払法人税等	439,800
(売上債権)		流動負債合計	778,997
未収金	2,434,200	固定負債 長期借入金	2,748,000
売上債権 計	2,434,200	固定負債合計	2,748,000
(棚卸資産)		負債合計	3,526,997
商品	47,005	正味財産の部	
棚卸資産 計	47,005	正味財産 前期繰越正味財産	3,176,180
流動資産合計	6,761,310	当期正味財産増減額	58,133
資産合計	6,761,310	正味財産合計	3,234,313
		負債及び正味財産合計	6,761,310

役員紹介

NPO法人CRファクトリー代表理事
吳 哲煥 (ご てつあき)

代表
理事

外部団体の代表クラスの方々を半数以上の割合で理事に迎えるのは大きなチャレンジですが、だからこそ視野と視点を広げて、よりスピーディーに柔軟に、そしてよりビジョナリーな事業体となれるよう、革新を進めていきたいと思います。社会全体の視点に立ちながら、自分たちの役割と強みを認識して、ネットワークと連携の力を使って、良い社会づくりをしていくこと、そこに身を投じていきたいと思います。

NPO法人CRファクトリー事業部長・理事
一般社団法人JIMI-Lab代表
五井渕 利明 (ごいぶち としあき)



理事

経験・才能のあふれる新しい理事メンバーを迎えることを、心強く思っています。団体の垣根を越えた、ビジョン・世界観を共有する方々との協働をさらに進めることで、社会に強くあたたかい組織を増やす生態系を生み出していくことです。これまでNo.2として担ってきたことをさらに飛躍させて、理事の一員として創造力を発揮して団体に貢献するために、まずは自分自身を成長させたいと思います。

NPO法人こまちぶらす 理事長
森 祐美子 (もり ゆみこ)



理事

CRファクトリーが広げる強くあたたかいコミュニケーションのノウハウを活かし協働するなかで、こまちぶらすも飛躍できました。多くの社会課題に取り組むNPO・組織・サークルが更にダイナミックに変化を生み出せて、そこに関わる1人1人が更に豊かに生きることにつながるよう多くの方とビジョンを描いていきたいと思います。

一般社団法人CAN net 代表理事
北海道で強くあたたかい組織をふやす
実行委員会 代表
杉山 純子 (すぎやま じゅんこ)



理事

団体を立ち上げる時にたくさん学びをいただいたCRファクトリーに理事として関わることはとても嬉しく、また、背筋が伸びる思いです。より良いコミュニティは個人も社会も豊かにする、また、人生の大変な時のセーフティネットになると感じています。それを実現する活動をしているCRファクトリーの今後の活動に主体性をもって応援・行動していきます。

NPO法人まつどNPO協議会 理事
CHIEの輪 代表
阿部 剛 (あべ つよし)



理事

NPO法人CRファクトリー監事
石橋 正行 (いしばし まさゆき)



監事

法人設立以来、監事を担当させて頂いております。この数年のCRファクトリーの成長は著しく、事業規模や財務的な面においても大きな団体に成長しました。NPO法人として社会的な責任もますます大きくなり、コンプライアンスは重要であると考えております。引き続き社会に貢献できる団体として、理事の皆さんと協力して内部統制を行って参ります。

CRファクトリーを応援してください！ 会員募集

社会問題を生み出し続ける基本構造として「つながりの希薄化」「コミュニティの弱体化」があり、それによる「孤立」「孤独」「分断」が根本要因になっています。この基本構造・根本要因を転換し、「つながり」と「コミュニティ」が豊かな社会にしていくことが私たちの役割です。みなさんにもぜひ私たちと共に「応援会員」として、この役割と一緒に担っていただければ幸いです。いただいた会費やご寄付は、事業及び事業を支える事務局業務の資金として大切に使わせていただきます。

年会費
(賛助会員) 個人5,000円／1口 団体20,000円／1口

※会員年度は7月1日～6月30日までとなります。
年度途中入会の場合も6月30日まで。

※1年間の活動・事業をまとめた年次報告書をお送りします(6月発行予定)

ホームページからも
お申し込みいただけます。

詳しくはこち
ら (QRコードからもアクセスできます)
<http://crfactory.com/support/register/>

